

松永病院 勤務医負担軽減計画(令和4年度)

<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤務医負担軽減を図るべくコメディカルを含めた各部門の協力体制を強化する。 ・関係部門の業務分担の明確化及びその遂行。 ・医師事務作業補助者の教育及び育成を図り、業務の効率を向上させる。 ・電子カルテの運用における改善点の抽出と医師事務作業補助者業務の改善を図る。

1. 医師事務作業補助者の配置について

実施状況	実施結果	令和4年度 具体的実施内容
令和2年4月より実施。	毎月1回、年12回の勉強会実施。 月の事務員ミーティング実施。	医師事務作業補助技能認定の研修カリキュラムに沿った院内勉強会実施及び事務員ミーティング実施
令和2年4月より実施(継続)	医師事務作業補助内容の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ①診断書作成補助。 (訪問看護指示書、介護保険主治医意見書、生活保護要否意見書、自賠責診断書、傷病手当証明書) ②退院サマリーの作成の補助。 ③他院からの紹介入院患者の返書の作成の補助。 ④入院診療計画書の作成の補助。 ⑤診療情報提供書の作成の補助。 ⑥他科受診依頼書の作成の補助。
令和2年3月1日より配置。	医師事務作業補助者4名配置済。	うち2名が医師事務作業補助者研修(日本医療コンシェルジュ研究所主催・令和2年3月14日-15日、令和2年4月18日-19日)受講済、うち2名が医師事務作業補助者研修(株式会社メディエル主催・令和2年12月16日-17日)受講済

2. 業務分担について

部門	目標	実施状況	令和2年度 具体的実施内容	達成項目			備考
				R4.7月	R4.11月	R5.3月	
看護部門	看護師が医師に必要な患者の情報を的確に提供できる。	電子カルテのデータベースやプロフィールも含め、看護師が患者状況を聴取し記入している。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテのデータベースに既往をはじめとするデータを漏れなく入力する。 ・看護記録を見直し過不足なく記入する。 ・回診や他科診察の際に必要な情報を確実に医師に提供する。 ・退院調整業務の推進。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
薬剤部門	薬用量、使用法、処方内容の確認。患者への服薬指導。新規採用薬剤情報等医薬品に関わる情報提供。	薬剤部門で可能な業務についての整理及び実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟の回診につく。(週に1回、又は月4回) ・療養病棟、回復期リハビリ病棟の薬剤整理 ・服薬計算書の作成(100%実施) ・特参薬の確認、服薬書作成 100% ・薬用量、使用法、処方内容を確認し、患者への服薬指導実施(100%実施) ・新規採用薬剤及び後発品薬剤情報等医薬品に関わる情報提供実施(100%実施)。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
検査部門	検査レポート等の迅速な作成、検査部門で記載可能な部分については記載する。	令和2年より実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検査レポートの作成。 ・効率良く仕事を行い迅速な結果提供。 ・撮影後の問題画像報告、助言。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	